

## 第4回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 会議録

【日 時】令和8年1月18日（日）15:00～16:10

【場 所】益富交流館 大会議室

【出席者】委員14名、事務局4名

【傍聴者】5名

- 【議 事】
- 1 前回会議録の承認
  - 2 協議事項
    - (1)「五ヶ丘の新しい学校を語るワークショップ」の内容について
  - 3 次年度の協議会委員の選任について
  - 4 今後の協議会日程（予定）

【内 容】(要点)

### 1 前回会議録の承認について

事務局 (資料に基づき説明)  
会長 承諾ということで良いか。  
各委員 (異議なし)

### 2 (1)「五ヶ丘の新しい学校を語るワークショップ」の内容について

事務局 (資料に基づき説明)

委員 参加申込みについて、希望を募り回ごとに割り振るということだが、全体を通じて参加したいという方もいるかもしれない。どれぐらいの申込みがあるのか想像がつかないが、想定外に多かった場合にどのように絞っていくか。ワークショップの規模を大きくすることで対応はできるのか。

事務局 グループの規模については、最終的に意見をまとめるまで全体で一体的に実施でき、会場の広さを考慮すると、現状の規模以上に大きくすることは厳しいと考えている。別で参加していただいた五ヶ丘まちづくりワークショップの規模は50名前後だったと思うが、会場の騒がしさやグループごとのスペースがかなりぎりぎりだったと思う。

申込みが多かった場合は、28名×6回分の168名分を最大の枠数として調整し、できるだけ多くの方が参加できるようにしてはどうかと考えている。申込みの状況により、複数回の参加が可能な形とする。申込時に各回の希望する優先順位を示していただいてはどうかと考えている。

委員 傍聴は可能にするか。また、令和7年3月に開催した説明会で出た意見については、どうなったか気にしている住民もいるため、多くの方が参加できたり、参加できなくても傍聴ができた方がよい。

事務局 傍聴は可能とする予定である。アンケートの実施はしたが、その意見も踏まえて今回ワークショップを実施したいということであるため、アンケートで答えた

ような意見をお持ちの方も参加していただければと思っている。

委員 参加者が想定外に多い場合はありがたいことで、大会議室や中会議室を追加で借りるなどして対応すべきではないか。ただ、それほど多く申込みがないのではないかとも思う。

委員 PTA や子ども会は横の連絡網がしっかりしているため、誘い合えば五ヶ丘まちづくりワークショップのときより増えるだろうと思う。

委員 子育て中の親は、休日に子どもの習い事の世話などもあるため、集まりにくい部分はある。ただ、託児の用意もあり、気軽に参加できるということが分かれば来るのではないか。

委員 いずれにしろ、参加者が多い場合の対応は事務局で何とかなるか。

事務局 たくさんの参加者はありがたいが、会場の問題もある。どこまで対応できるか検討はさせていただく。

委員 ファシリテーターも今回手配してもらっているが、あまりに多いと運営上、仕切ったりまとめたりすることが難しくなる。他の部屋まで広げていくことは難しいのではないか。

事務局 全体の議論を共有し合う場面を作りたいと考えており、部屋が分かると運営上難しい面がある。

委員 グループワーク時のみ部屋を移動してもらえば良いのでは。

事務局 ファシリテーションをする事業者にも相談し可能かどうか一度検討するが、一度申込みの状況を見て、追加で募集するようなことも考えられるため、状況を見て対応させていただきたい。

委員 小中学生の参加について、高学年だと思うが、グループワークの参加が現実的にできるだろうか。意見は尊重してあげたいが。

委員 先日、小学生にSDGsについての話をした際、とても賢い子がいた。一方で中学生に話をした際に何も分からないという子もおり、個人差によるところが大きいと思う。小学生でも参加したいという子は受け入れれば良いのでは。

事務局 市としても懸念している部分があり、事前に学校側に相談などもさせていただいた。いきなりテーマについて大人と同じテーブルについて意見を交わし合うのは、やはり難しいかもしれない。そのため、保護者と一緒に参加することや、事前質問に対して回答しておいてもらう形でうまく実施できればと考えている。また、テーマをそのまま聞いても考えづらいと思われるため、子どもの考えを引き出しやすい表現、聞き方の事前質問としたい。

委員 市の防災対策課は子どもが参加するワークショップなどの経験が豊富だと思う。小学4年生でも十分ではないかと思う。ただ、各テーブルに複数人いた方がやりやすいのでは。

事務局 児童数なども踏まえて、例えば16名の参加では多すぎる面もあったため8名とした。ただし、小学生は保護者と同じグループにするなどの工夫でどうかと考えている。

委員 聞き出し方が大切だと思う。難しい話をしてほしいわけではないため、今思っていることを聞ける形が良い。

委員 いきなりは難しいため、やはり事前質問が必要だ。自分の小学校で友達と相談したうえで意見を持ってきてもらっても良い。

- 委員 2月初旬の申込み時にすべての回の申込みを募るといふことか。半年先の予定は変動することもあり、確定させるのはつらいのでは。
- 事務局 各回の日程は、できれば募集案内で示していきたいと考えている。予定が変わってしまうことは想定しているため、ワークショップごとに配布するかわら版で随時の募集や予定の変更のことも含めて対応していきたいと考えている。いったんはすべての回の募集をしていく。
- 会長 いただいた意見を踏まえ実施していくこととする。

### 3 次年度の協議会委員の選任について

- 事務局 (資料に基づき説明)
- 委員 来年度はワークショップが主体だが、協議会の開催予定はどうか。
- 事務局 基本的にはワークショップのすべての会が終了した後に開催する予定である。また、ワークショップの開催状況に応じて、期間中に臨時で1回程度の開催を想定している。また、令和8年度の最初の5月のワークショップの前には、委員の入れ替えもあるため、協議会を開催し説明等を行いたい。
- 委員 委員になる予定が分かっている人には、3月のワークショップにも参加していただくよう呼びかけた方がよい。傍聴でもよい。
- 会長 事務局において、各団体への次年度協議会委員の選任依頼等を進めてもらいたい。

### 4 今後の協議会日程(予定)

- 事務局 (資料に基づき説明)
- 年度末から来年度にかけての予定について確認する。3月中に各団体へ委員の選出依頼と第1回目の資料の案内を送付する。4月に入ってから回答をいただき、4月中に1回目の協議会を実施、進め方等について説明をする。
- 5月から9月にかけて、毎月1回のワークショップを予定している。協議会は、9月の最後のワークショップの終了後の10月頃に実施を予定しているほか、ワークショップ期間中にも状況に応じて臨時で開催することも想定している。
- 委員 子ども参加する第5回が夏休み期間中のため、避けた方がよいのでは。
- 委員 ワorkshopの最終回を後ろ倒しにすることはできないのか。
- 事務局 協議会でも説明させていただいたとおり、令和8年度中に学校再編の方向性を決定していくにあたり、協議会においてまとめたり、市が学校再編計画の案を作成してお示しする期間を考慮すると、後ろ倒しにすることは避けたい。
- 事務局 第4回のテーマ「学校と地域のつながり」を最後の9月とし、第5回と第6回をそのまま前倒して7月、8月の実施としてはどうか。7月は夏休みと重複しないように上旬の開催としてはどうか。
- 委員 テーマの順番としてもかえって良いのではないか。
- 各委員 (異議なし)  
(以上 閉会)